

労働組合って何だろう？

－田中さんの30日間－

●ひとごとじゃないぞ リストラは



リストラされるのは あなたのせいではありません

日本では、法律で労使対等が保障されています。まして解雇は簡単には行えないよう規制されています。けれど、実際には経営者が勝手な理由をつけて労働条件を一方的に変えたり、労働者を解雇することもよくあります。こういう事態がいざ自分の身に起きてみると「なぜ？自分は何か悪いことをしたのか？」と考えてしまうかもしれません。でも、経営者は、もうけのためならいくらでも労働者を切ってくるものです。悪いのはあなたではありません。あきらめず、仲間を探しましょう。

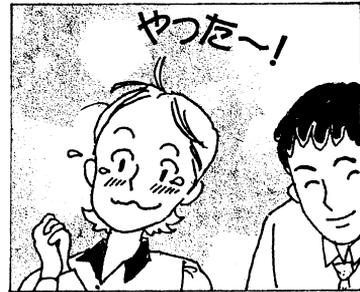
●労働組合と一緒に…



労使の力の不平等をはね返すのに必要なのは、団結と組織の力

労働者が一人で経営者と対等に交渉するのはとても難しいです。これは、経営者が雇用を左右する強い力を持っているのに、労働者はバラバラに足の引っ張り合いをさせられていることに原因があります。ですから、労働者が強くなるにはとにかく集まり、団結することが必要なのです。労働組合はこのためにあります。労働組合の強さは、この協力しあう仲間どうしの団結と組織の力に他なりません。かりに職場で一人でも、労働組合に入ることで対等な労使関係に近づくことができます。

●さあ、本番!



主人公はあなたです

一人で解決が難しいのですから、労働組合の仲間と一緒に団体交渉するのは当然の権利です。でも組合の仲間はあなたの「代理人」ではありません。職場のことを一番よくわかっているのはあなた、だから交渉で会社が一番恐れているのも当事者であるあなた自身なのです。自分できちんと主張していくのはとても勇気のいることですが、どんなに緊張していても、基本的な意思表示と要求は、自分の口からハッキリ言うようにしましょう。それが一番効くのですから。

●今度はあなたが応援を!



合言葉は「みんなは1人のために、1人はみんなのために」

中小零細企業で働く人やパート・派遣・嘱託等正社員でない人の大半は、労働組合もなくひどい労働条件で働かされています。困っているのはあなただけではありません。それぞれの問題の改善・解決を図れるのも、多くの仲間の支援があって初めて可能なことです。助けを求める仲間を見て見ぬふりをすれば、労働組合は形ばかりのものになります。逆に、皆が団結すればそれだけ組合の力は強くなり、困難な問題も解決できるようになっていきます。今度はあなたが仲間を応援する番です!